

使用教科書： 東京書籍「化学基礎」「化学」

月	考査 等	指 導 内 容
4		3章 酸化還元反応 【実験】 酸化還元滴定
5	中間考査	2章 電池と電気分解
6		第1編 物質の状態 【実験】 銅の電解精錬 1章 物質の状態
7	期末考査	
8		■夏季休業中課題
9	課題考査	2章 気体の性質 3章 溶液の性質 【実験】 凝固点降下
10	中間考査	4章 固体の構造 【実験】 コロイド溶液
11		第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 第3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ
12	期末考査	■冬季休業中課題
1	課題考査	2章 化学平衡 【実験】 平衡の移動 3章 水溶液中の化学平衡 【実験】 モール法
2		第4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物
3	学年末考査	■春季休業中課題
<p>〈目標〉</p> <p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>		<p>〈評価の観点〉</p> <p>定期考査や授業中に行う小テストの解答や、実験レポート、課題などの状況から、主に[知識・思考力・判断力]また学習内容の理解度および定着度を測定する。</p> <p>授業や実験における態度・行動等、提出物の記述内容などを通して、主に[技能・表現力・学びに向かう人間性]また学習に対する意欲や態度などを評価する。</p>